

支那情勢

排日紙
有害なる宣傳

日本

日本新聞の論調

一般に賛同意見を發表し

世界の要求だ

某紙論

非公式モスコ

政府

議論

かについて

モスコ

政

府

の

多數有力市民團體が 外人登録案に反対

米國労働聯盟、私權擁護同
盟、移民政策協會等が抗議

故國野球界の覇者 早大野球今春渡米

二月廿日發大洋丸で

加州在中は本船で韓旋

日本爲替

又昇る

婦人雑誌

四十三年廿七十五仙

本日頃から

降雨を見ん

農家降雨を待つ

昨日迄の暴雨地方に於ける降雨量

の遅い本船の希望

は四時十九分より

十六時六分八時半に比し分

て明大野球にも決して劣らぬ好成績

を示してゐるから

渡米丸で

横濱を出發する

市立古大學の招請で故國野球界の

留学生たる大學生野球團は

(二)書寅與年謝代名野名士品人子の自寅(約特通)

寅と名の字の子の寅(約特通)

新説
修羅八荒
(十七)
行友 李風作



お後室

(三)

金水引懸つたひだけ、二つあつた小糸も十の娘さり。お散風の農い化粧が色々ある紅梅の花二重扇を閉めるまよ。科學「しまさきの夜はふけて、内外がひつそり、二郎へだたおなが聞こえ、物の氣配は風煙の茶の湯のたる音をしめた。川瀬の水のさしが、船頭あたらず、船の神なり。」

「水に東芝と我祭は珍らしく、スッキリした男振り、わたくつする時、かわい。」

「それは、めいの好き好きで、食ふて、なんが誰もうこ不思議に思つて心を開いた。

「てへ、お後室がおのやうな可笑ひ。」

「アラ、そのお話をは……」

寝られたがまゝに、毛角音が多

くならず。

「大層かこになりました」

「お、ねえ？」御用はなくかも知れません」

「寝じしても、一度御用伺つて見つけねば……」

「アラ、わらはまた、間島の御用はなくかも知れません」

「うわ、わらはすのよ？」

（アレ）

（アレ）